



# くさばな しんぶん

2020年12月年末号

2020（令和2）年  
12月18日発行  
通算第296号

## 【ことしを振り返って】

月並みな標題で申し訳ありません。でも例年になくこうした標題をつけなくなるほど、特別な1年でした。みなさんも同じだと思います。さいわい、当園の園児、ご家族、職員及びその家族には今のところ感染者はゼロですし、PCR検査を受けた人も、園が把握している限り誰もいません。

思い返せば2月27日の夕方、安倍首相（当時）が突然、来週から全国の学校を休校にするという発表をしてから、先行きへの不安と心がざらつく感じの日々が始まりました。世の中の様相が一変し、4月7日には緊急事態宣言が出され、4月と5月は休園となりました。

今から思い返すと「あの日々」という思いがします。ブルーでグレイな日々ともいえるのでしょうか、これまでに経験したことがないような毎日でした。6月から園は再開しましたが、以前のような当たり前の世界が消えて、いまだどこかおぼつかない感じが否めません。「今の日々」は何なのでしょう。私たちはどこにいるのでしょうか。終熄の過程にいるのか、それとも欧米のような悲惨な状況の手にいるのか。この年末に向かって感染者数が春よりも大幅に増えています。

「あの日々」も「今の日々」も心の底に緊張感が横たわっています。こうしたことが精神の面に良い影響を与えるはずはありません。でも春の来ない冬はあります。来年が良い年でありますように。

## 【焼き芋大会 - 焼き火の楽しみ】

12月10日（木）焼き芋大会をしました。朝早した。今は焼き火は規制されていて、自由にはできません。以前は、焼き火は秋から冬にかけての園の職員の仕事でした。もちろん煙がたくさん出てくるのでね。焼き火の回りで子どもたちが楽しいものとなりました。



焼き火をするには少々の技術と経験が必要です。した。電気とガスの時代でも、いったん災害が起きイバルのためにも焼き火の技術の伝承は必要かな、と思っています。

くから薪を積んで点火、高い炎が立ち上がり壯麗でなくなっています。事前に消防署と市役所に届出を風物詩でした。庭に舞い落ちた落ち葉を捨ててくべます。不思議なことにその煙は自分を狙うように漂声を上げながら煙から逃げ惑う光景は、いまや懐か

そうそうマッチの握り方は今や教える時代になりました。こうして焼き火の技術も必要となります。サバ

## 【除夜の鐘】

ことしの大晦日の除夜の鐘はとりあえず例年どおりに行う予定です。暖をとるための火も起こします。ただし、マスクはゼツタイ音用、鐘撞き前後の手指消毒、他人との距離の確保をお願いします。また、菓子やみかん、大人気の一斗樽のお酒の提供はなしです。焼き火を囲んでの談笑もNG。コロナの感染を防ぐためにはやむをえません。

午後10時ごろから撞きはじめます。そして午前0時30分ごろには終了です。なお、世の中の状況がさらに悪化するような場合は中止にすることもあり得ます。その場合は、園のアプリなどですみやかにお知らせします。 理事長 山城 清邦

## 【総談会にお越しいただき、ありがとうございました】

7日、8日の2日間に入り、学級懇談会を行いました。新型コロナウイルス感染症の予防措置を取りながらの開催ということで、ご来園いただいた保護者の方には事前の検温、入室前の手指消毒への協力をいただき、併せて短時間での開催といたしました。各クラスともお子さまの2学期の様子や進級、進学に向けた今後の保育の進め方など、それぞれの担任の思いを保護者の皆さまにお伝えしました。その中で、保護者の皆さまからのご要望、ご意見をいただくこともできました。これらのご意見につきましては今後の園やクラスの運営の中で参考にしていきたいと考えております。また、ご要望につきましては、職員と内容についての共通理解を図りました。その中でいくつかのご要望につきましては、皆さまにお知りおきいただきたいと思いましたので、この場でお知らせいたします。

### 1 親子満足を行ってほしいのですが・・・

親子満足は、保護者の皆さまやお子さま同士の交流を図ったり、お子さまの思い出の一つとなったりという良さもあり、当園でも行っていたこともありました。しかしながら、その当時からいろいろなる理由で保護者の方の参加が難しくなったり、参加いただく大人の人数を制限しなければならなかったりということがあり、年々、親子満足を行うことが難しくなっていました。そのため、親子満足の代わりにご家族みなさんで楽しめるような行事ができないかと職員皆で考え、「くさばなファミリーの日」という行事を作りました。今年度は、新型コロナウイルスの感染予防のためやむを得ず中止といたしました。が、次年度以降、この状況が良くなれば再び行いますので、その際は、ご家族皆さまでお楽しみいただきたいと思います。親子満足につきましては、こうした背景があるということをご理解いただけたら幸いです。

### 2 「くさばなしんぶん」の紙面を大きくしてほしい。

毎月配布している「くさばなしんぶん」ですが、サイズが小さく読みにくい方が多くいらっしゃったとのことで、早速、今月号からサイズを大きくしました。また、こうしたご要望があるということは、担任が書くクラスだけでなく、こちらの紙面も皆さまにご覧いただけているということだと思いますので、とても励みになりました。

### 3 写真販売について、枚数が多かったり、順不同で張り出されていたりしたため、選びづらかった。

写真販売につきましては、今年度分の販売を11月末から学年ごとに行いましたが、これまでの撮影分を一度に販売しましたので、確かに枚数が多かったと思います。更に感染症予防を考え、販売時間もこちらで指定した時間内でお願いしました。販売枚数に対して1日の販売時間が短かったため、保護者の皆さまの中には大変な思いをされた方がいらっしゃったようです。今回の要望を踏まえ、できるだけスムーズに選べるよう時間設定等を考えていきたいと思っています。

お子さまや保護者の皆さまにとってより良い幼稚園を目指し、日ごろから職員間で意見交換や話し合いをしながら保育活動を行っていますが、保護者の皆さまのお力添えも必要不可欠です。これからもお気づきの点などがございましたらお声掛けいただけますようお願いいたします。

## 【クリスマス会をしました】

17日（木）にクリスマス会を行いました。例年は横田基地の外人さんにサンタさんをお願いして来ていたのですが、今年はコロナウィルスのためサンタさんをお願いできませんでした。そのため、職員で内容を考え、お子さまの知らないうちにサンタさんがこっそりやってきてホールのツリーの下にプレゼントを置いて帰っていったという設定にしました。当日、暗くしたホールに行ってみると、ツリーの下に大きな袋があることに気づいたお子さまたち。「うわー！！」という声とともに目をキラキラさせて喜んでいました。サンタさんには会えなかったのですが、「やっぱり来てくれた！」というお子さまの声も聞かれ、無事にサンタさんからのプレゼントを届けることができたことに少しホッとしました。来年は、サンタさんが来てくれるよう願わずにはいられない今年のクリスマス会となりました。

## 【2学期もありがとうございました】

本日をもちまして2学期が終了いたしました。1学期に引き続き、新型コロナウイルス感染症の予防措置を取りながらの保育活動となり、保護者の皆さまには、大変ご不便をおかけしました。皆さまのご理解、ご協力により、園児、職員、保護者の皆さまともに罹患者が起こることなく2学期を終えることができました。また、運動会という大きな行事をはじめ、遠足、クリスマス会、その他の行事も、例年とは形を変えながらも行うことができました。ご協力、本当にありがとうございました。3学期も職員一同でできることを考えながら、お子さまたちが楽しく園生活を送れるように、そして次年度に向けての準備ができるよう努めてまいります。

明日から冬休みとなりますが、けがや病気に気を付けて、ご家族皆さまでよいお年をお迎えください。1月8日（金）に元気なお子さまの姿にお会いできることを楽しみにしています。2学期もありがとうございました。

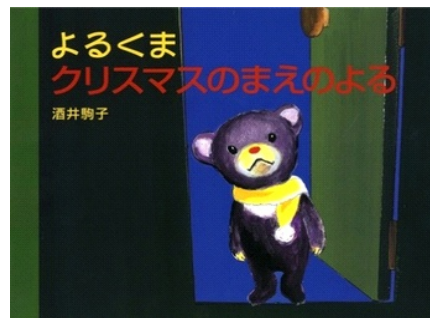
園長 影山 幸江



## 私のおすすめの絵本

（この欄は教職員が交代で担当します）

「よるくま クリスマスのまえのよる」 作：酒井駒子 出版社：白泉社



クリスマスイブの夜、サンタさんが来てくれるか心配する男の子の元へやってきたのは、友だちのよるくま。サンタさんを知らないよるくまに、男の子はサンタさんの代わりにプレゼントをあげることにします。

そんな子どもらしい不安な気持ちや優しさがたくさん詰まった一冊です。温かいイラストと男の子とよるくまの可愛らしいやりとり、クリスマスの鮮やかさがとても印象的です。ぜひクリスマスの前にお子様と一緒に読んで、たくさん抱っこしてあげてください。

河村 彩果